



宮津市立図書館だより No.3

平成 30 年 5 月 発行

学びと育ちを支える 市民の役に立つ 出会いのある 市民が利用しやすい図書館

TEL 0772-22-2730 FAX 0772-22-2520

新しいコーナーができたよ!

宮津の観光・産業についての本を集めました!



観光宮津♪日本の宮津♪

宮津の「ええところ」を感じていただける新しいコーナーです。

ぜひ、おこしく下さいね!

花と野菜を育てたいあなたに・・・「園芸の本」も勢ぞろい!



園芸、家庭菜園に関する参考書を紹介しています。植物にまつわる小説も・・・お楽しみください。



家族といっしょに・・・ホッとする本

母の日(5/13)、父の日(6/17)にちなんで、

家族をテーマにした本を展示しています。



小さな子どもさんはもちろん、大人が読んでほっこり、ジーンとするお話をそろえました。

心をふるわす本との出会いをお楽しみください。

大人気! 受賞作品コーナー

※MOE 絵本屋さん大賞2017 (児童書)

※本屋大賞2018(一般書)



<平成 30 年度の取組方針>

宮津市立図書館

- 1 学校図書館、保育所、各地区公民館等との連携及び読書活動の支援に努めます。
- 2 幼児・児童向け資料を充実させるとともに、子どもが読書に親しみ環境づくりを進めます。
- 3 市民の生活や地域課題の解決に役立つサービスの充実に努めます。
- 4 利用者の求めに応じたレファレンスサービスの充実に努めます。
- 5 ボランティア活動の促進・支援を図りながら、市民との協働を推進します。
- 6 誰もが利用しやすい環境づくりとサービス提供に努めます。
- 7 市全域での図書館サービスの充実に努めます。



うら面でおすすめの本を
しょうかいしています。



「宮津ええとこ」

宮城益雄著/あまのはしだて出版

宮津市内の史跡、文化遺産、文学碑がカラー写真・地図とともに詳しく紹介されています。新緑の季節、このガイドブックを持って、宮津を散歩してみませんか。

(宮城氏は、2001年 宮津文化賞を受賞されています。)



「おとうさん」

シャーロット・ゾロトウ文、ベン・ジェクター絵、みらいなな訳/童話屋

ぼくには、とうさんがいません。だけど、かあさんが話してくれたとうさんは……。少年が語る「とうさん」の姿が、読んでいるわたしたちの目に浮かんでいきます。ラストのかあさんとぼくの会話が、いつまでも胸に残る絵本です。



「カーネーション」

いとうみく作、酒井駒子画/くもん出版

いつか母は、わたしを愛してくれる……。と信じている。そんなことは無理だとわかっていても、心のどこかでいまでも願っている。母に愛されない娘と娘を愛せない母親を描いた挑戦作です。健気な子どもの姿に涙してしまいます。

赤ちゃんにおすすめです



「いないいないばあ」

松谷みよ子文、瀬川康男絵/童心社

日本初の本格的な赤ちゃん絵本として誕生して半世紀赤ちゃんがはじめて出会う一冊として世代をこえて読みつがれています。大人も赤ちゃんも笑顔になります。



「がたんごとんがたんごとん」

安西水丸作/福音館書店



まじめな顔の真っ黒いきかんしゃ。うしろの車両は空っぽです。がたんごとんといろんなものをはこんでいきます。「のせてくださーい」ミルクのビン、赤いカップとスプーン……きかんしゃの音と「のせてくださーい」のくりかし。読み終わるともう一度！と声がかかります。

※2冊とも人気の絵本です。



おすすめの本 (注目の本です)



「九十八歳になつた私」橋本治著/講談社

時は、2046年。東京大震災を生き延びた、独居老人で元小説家の「私」のところにボランティアやさまざまな人が訪れる。今から30年後の自分の生き方を想像して描いている。笑って身につまされる衝撃があります。



「僕が殺した人と僕を殺した人」東山彰良著/文藝春秋
台湾が舞台の青春小説。2015年にアメリカで連続殺人鬼「サックマン」が逮捕された。1984年。私は13歳だった。少年だった4人のうち誰が「サックマン」なのか。30年の間に何があったのか…その謎をめぐるミステリー。



「ハックルベリー・フィンの冒険」

マーク・トウェイン著、柴田元幸訳/研究社
少年ハックルベリー・フィン、父親やおばさんたちから逃れた。逃亡してきた黒人奴隷のジムと2人で筏に乗ってミシシッピ川を旅する。本当の自由と幸せとは……